



## 全国大会出場の栄光をたたえて 令和元年度成績優秀者激励金交付

文化・スポーツ活動において優秀な成績を収め全国大会への出場を果たされた方々に、町より激励金を交付しています。7・8月に交付させていただいた成績優秀者は右記の6名です。



激励金交付式の様子

氏名 (出場時の所属)	大会名等
さとう ゆう 佐藤 悠 (南陽高1年)	令和元年度全国高等学校総合体育大会ソフトボール競技大会
そえだ みらい 副田 未来 (荒砥高3年)	・第43回文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権大会 ・第43回全国高等学校総合文化祭囲碁部門
わたなべ りょう 渡部 凌 (羽黒高3年)	令和元年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会
すずき ななみ 鈴木 七海 (南陽高2年)	令和元年度全国高等学校総合体育大会空手道競技大会
この りょうま 紺野 稜真 (白鷹中3年)	第46回全日本中学校陸上競技選手権大会
あべ まなと 安部 愛翔 (山形中央高3年)	第74回国民体育大会水泳競技



## 今年の質も上々—— 今年紅花加工品検品作業の実施

8月20日、山形県紅花生産組合連合会による紅花加工品（すり花、紅餅、乱花）の検品作業が山形市内で行われました。生産者らによって色や乾燥の具合が確認され、1級、2級の等級に分けられました。

今年の県内全体の総収量は265kgと、前年度の251kgを上回る結果に。本町では、紅花畑の減少による収納量の減少が懸念されましたが、今年度の収納量は、県内総収量の約6割を占める172kgとなりました。（数値は速報値です）

紅花生産者の皆さんはもちろん、町内全小学校、中学校、荒砥高校、白鷹高等専修学校、町内企業のみなさんをはじめ、ボランティアで紅花を摘んでくださった皆さんの力によって今年も紅花生産量日本一を達成できました。ご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。



一生懸命摘んでくれた児童たち



検品作業を行っている様子



## ホ スタウン交流事業で白鷹ならではの“おもてなし” 中国ティーボールチームが野球教室、紅花染めを体験

7月31日、中国広州の少年野球チームが来町し、野球教室や紅花染めなどを体験しました。

野球教室では、本町の野球スポーツ少年団に所属する子どもたちと白鷹中学校の野球部も参加し、楽天イーグルスアカデミーのコーチである永井克弥さんをお招きして指導をいただき、約2時間の練習に一生懸命励みました。野球教室終了後は、交流試合やバーベキューが行われ、翌日には紅花染めも体験。来町した中国の子どもたちは終始笑顔で白鷹の夏を満喫しました。



今後の大会での活躍を誓い合いました



## 命を守る行動を学ぼう ひがしね保育園で起震車を使った防災訓練

7月3日、ひがしね保育園で西置賜行政組合消防署白鷹分署の協力もと、起震車を使って実際に揺れを体感し防災意識を高めるための訓練が行われました。

ひがしね保育園の園児らは、震度4程度のやや強い揺れから、6月18日に発生した山形県沖を震源とする地震で鶴岡市で観測された震度6弱の大きな揺れまで体験しました。初めはニコニコとしていた園児も実際に揺れると表情が変わり、真剣な表情で机にしがみつく姿が見られました。



身を守るためにしっかりと机にしがみつくと園児たち



## 長年の功績を称えて—— 山形県国民健康保険団体連合会表彰を3名が受賞

7月30日、国民健康保険事業に対する功績が顕著な方々に山形県国民健康保険団体連合会より表彰状が授与されました。白鷹町からは、五十嵐悟さん（荒砥甲）、関千鶴子さん（鮎貝）、金田捷夫さん（高玉）の3名が受賞されました。

町国民健康保険運営協議会委員として国民健康保険事業の運営に貴重なご意見を提言され、健全運営に寄与された功績がたたえられ受賞されたものです。



国保連合会理事長より賞状が授与されました



## 令和の時代も平和が続きますように—— 白鷹町平和祈念事業を開催

終戦記念日の8月15日、白鷹町文化交流センターあゆむで白鷹町平和祈念事業が開催されました。

式典には町関係者など約100人が参列し、戦火により犠牲となられた方へ黙祷がささげられました。この日に成人式を迎えた長岡亮太さん（鮎貝）と丸川恵理花さん（横田尻）が平和都市宣言を朗読。平和へのメッセージと献花、折鶴献呈が行われました。その後、白鷹町少年少女合唱団による平和への賛歌が披露され、「いつまでも平和が続きますように」と願いの込められた美しい歌声が場内に響き渡りました。



美しい歌声を披露した合唱団の団員たち



## 空き家所有者の悩みや疑問の解決に向けて 空き家相談会を開催

8月14日、白鷹町文化交流センターあゆむにて、町内に空き家をお持ちの方を対象とした空き家相談会が開催されました。この相談会は空き家所有者が抱える、建物管理における悩みや疑問を取り除き、管理不全空き家の増加を防ぐことを目的に行われました。

相談会では、相談員として町職員のほか山形県宅地建物取引業協会、全日本不動産協会山形県本部、山形県司法書士会にもご協力いただきました。空き家処分の方法や売買するための準備などについて3件の相談がありました。



相談会の様子